

令和6年度 第9回リフォームWG 議事要旨

I. 日 時：2025 (R7) 年 2月13日 (木) 10:30~12:00

II. 場 所：(一社)日本木造住宅産業協会 オンライン (ZOOM) 併用開催 (6階会議室)

III. 出席者：(敬称略、順不同、※印は WEB 参加)： 下線は欠席

リーダー：※池田 (ミサホーム)、

メンバー：秋本 (住友林業)、中藤 (ホーテック)、※杉山 (ホーテック)、※彦坂 (サラ住宅)、久野 (ニチハ)、
遠藤 (BX 林シシ)、澁谷 (YKK AP)、池田 (旭ファイバーグラス)、落合 (小田急ハウジング)、
※熊谷 (住友林業ホームテック)、※内山 (エーエスディ)、貫戸 (タカ)、吉川 (ハゼコ)、
※小寺 (エスケー化研)

オブザーバー：佐々木 (住宅保証機構)

事務局：鈴木、松澤 (木住協)

(出席者 8名)

【報告・議事事項】

1. 前回議事録の確認

(資料1)

・前回読み上げ、修正なし

2. 令和6年度既存住宅状況調査技術者講習申込状況(12月末)

(資料2)

(事務局)

合格状況

・合格率 97.0%

(池田リーダー)

前回、更新予定者に受講期限を通知してもらった結果、20名の方が申し込みされ、
一気に増えたが、3月までにもう一度メールをお願いします

3. 2月17日リフォーム版 「施工管理チェックポイントマニュアル」対面講習について

(池田リーダー)

① 流れの説明 (資料3-1・時間割・スケジュール表)

1) 現在、62名参加予定

② 当日に向けての打合わせ

1) 講師は、ぶっつけ本番だと不安なので、

2/17 13:00 集合にて、リハーサル

- 2) 熊谷委員から、添付していただいた資料を
各講師と相談の上、当日資料に追加
- 3) 小寺委員からの、塗装工事他においての、給湯器養生時の注意点
及び、養生したままのガス使用の禁止他、説明に追加
(不完全燃焼をおこすので、給湯器養生しないほうが良い)

③ 動画配信

- ・ 2025 年 3 月中の公開を目標

(池田リーダー・事務局)

当日スケジュール

日時 : 2025 年 2 月 17 日

14:30	受付
14:45	注意事項説明
14:50	御挨拶
15:00~16:50	講習(休憩 10 分含む)
16:50~17:00	質疑応答
17:00	終了予定

場所 : 全特六本木ビル WEST 棟 6F (木住協 6F 会議室)
タイトル : 「リフォーム版 施工管理チェックポイントマニュアル」の解説
講習方法 : 対面リアル講習 (Zoom 併用なし)
御挨拶 : 秋本委員長
講師候補 : 内山、池田、小寺、熊谷各委員 (発表順)
内容 : 上記タイトル内容 + ジャパンさん把握不具合事例 + α

4. 次期テーマ「断熱リフォーム販促ツール作成」について

1) 「リフォーム工事のしおり」について

(事務局)

- ・ 以前、熊谷委員様から提供いただいたものを、木住協用にリニューアルいたしました。
- ・ 使い方として、「自分か会社名」をどういれるか等、覧も含めWGで展開いただきたい。

(池田リーダー)

- ・ スケジュール感ありますか？

(事務局)

WGで合わせて展開をお願いします。

(池田リーダー)

- ・改訂した資料HPに載せてあるので、各自確認をお願いします。

2) 販促用断熱リフォームについて

(池田リーダー)

- ・前回、各社どの程度の断熱性能を目指してリフォーム工事しているのかを現状把握。
- ・数社から回答をいただいたので、説明をお願いできればと思います。

(熊谷委員)

- ・会社としては、等級4を目指しているが、現場の声を聞くと、せいぜい、2か3が現状。お客様にも「等級〇」を目指すとは言ってない。
- ・お客様の予算の関係が大きい。

(お客様向け資料、見積り兼用になっている資料紹介)

(池田リーダー)

- ・自社の場合は、等級4を目指すこととしている（フルスケ時）
- ・ただ、現状全国的に統制が取れている訳ではない（エリア、担当によってもバラツキ）
- ・窓断熱は、補助金制度の基準による（Sグレード提案が多い）

(彦坂委員)

- ・現状、等級に対するものは特に決めていない。やはり補助金制度に合わせてが主流。

(池田リーダー)

- ・木住協は等級4を目指すと言っても良いのかなと個人的には思う

(杉山委員)

- ・感覚的には等級4。補助金制度に変更があれば変えても良いのではないかと。

(内山委員)

- ・等級4が妥当では。

(小寺委員)

- ・お話を聞いていると、木住協としては4が妥当では。

(熊谷委員)

- ・実際、現場の声を聞くと、等級4はかなり、ハードルが高い。
- ・等級4を謳って、木住協会員が、お客様に配った場合、現場でお客様から「等級4ってないじゃないか！」等、クレームになる恐れがある。
- ・また、一般会員会社が、等級4を証明できる術があるのかも、懸念事項。
- ・上記の件や、会員会社が使いやすい資料が目的なので、等級は、謳わないほうが良いと思う。
- ・会員会社様が、このリーフレットを「どう使うか」が問題。

(池田リーダー)

- ・まさしく「どう使うか」が問題。（増築の場合の等級4の義務化の問題も踏まえ。）

- ・住友H Tさんの資料に、等級以外は全部盛り込まれている。

(杉山委員)

- ・等級4は、こういう仕様になります等、参考として、
シュミレーションソフトもいれ、紹介という形でいいのではないか。

(彦坂委員)

- ・住林H Tさんの資料に「次世代省エネ」の紹介があるが、こういううたい方が
良いのでは。
- ・「等級〇を目指しましょう」ではなく「この仕様を行うと、こうなりますよ」的な
表示。

(池田リーダー)

- ・「目指す」というのではなく「これぐらい性能が違いますよ」的、紹介。
それを見て顧客側で判断する。

【今後どう進めていくか】

(池田リーダー)

- ・盛り込みたい内容をピックアップ
- ・専門の業者へ渡す → 製本? → ×
- ・木住協側（我々側）の指示が必要となる。

(熊谷委員)

- ・提供した資料に、付け加えていく方が早いし、良いのではないか。

(池田リーダー)

- ・今後、どういう風に進めていけばいいか、本日参加していないメンバーも
含め、次回WGまでに事務局で、皆さんに聞いてもらえますか？

(事務局)

- ・了解いたしました。

以上

※ 池田リーダーより、追加・補足事項

※ 作成するチラシでは、

木住協が提案する断熱仕様のレベルや伝え方、
どの程度の断熱リフォームを想定したものにするかについて、
2/13 のリフォーム WG では下記のような議論がありました。

※ しかし、時間やメンバーが限られていたため、

※ 方向性を出すことができませんでした。

※ つきましては、

※ 木住協が提案する断熱仕様のレベルや伝え方、
どの程度の断熱リフォームを想定したものにするかについて、

※ メンバーの皆様のご意見をいただけないでしょうか。

※ また、ざっくりでもよいので、

※ こういう風に進めたら上手く作成できるのでは、

※ といったことでも構いません。

※

※ ■WG での議論

※ 木住協としてお客様に提案したい断熱性能について

※ ・各社の現状では、等級 3 程度

※ ・4 月の法改正では増築部は等級 4 適合義務化

※ ・今後も基準強化や、お客様の要望も強まることが予想される

※ ↓

※ ■参加メンバー意見

※ ・木住協が提案する断熱仕様は等級 4 程度とすることが望ましいかもしれないが、

※ 現状で難しいことを謳ったチラシは使い物にならないのではないかと？

※ 住林 HM さんのチラシを参考にする。

※ ・「等級〇〇を目指します」とは言わず、

※ 「等級 1 はこの程度、等級 4 はこの程度（温熱環境や光熱費が）」と示すだけにする。

※ ・フルスケルトンなのか、部分的なのかで、

※ 目指す等級の難易度も異なると考えられる。

※ どんなりフォームを想定したチラシとするのか？

【次回 令和 6 年度 第 1 0 回リフォームWG】

令和 7 年 3 月 1 3 日（木）10：30～12：00 木住協 6 階会議室+ZOOM 併用